

平成24年1月31日

株式会社 山陰合同銀行

とっつりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～住宅建築メーカーとして“初”の取組を支援～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一朗)では、地域貢献・地域環境保全の取り組みを推進するなかで、平成24年2月6日(月)に鳥取県(知事 平井 伸治)と寿ホームズ株式会社(代表取締役 杉島 篤美、倉吉市)との間に「とっつりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、オフセット・クレジット制度(以下、「J-VER制度」という。)を早くから積極的に活用し、県有林の整備・保全に取り組んでおられます。また、この鳥取県の取組は県内の林業関係者・事業者等へ波及し、現在、県内において6事業が登録されています。さらに、新たなJ-VER事業登録に向けた事業者への支援も積極的に行っておられます。

寿ホームズ株式会社では、お客様のご要望を最大限尊重しながら、安心・安全な天然素材を利用した“無添加住宅”や“薪ストーブ”のあるライフスタイルの提案等を行い、環境にも人にも優しい住宅の提供を目指して事業展開をされています。また、木造建築の促進に寄与した企業が表彰される「鳥取県木の住まいづくりコンクール」においても、過去4度受賞されるなど、県産材の積極的な利用にも貢献しておられます。

本件におきましては、「鳥取県J-VER地域コーディネーター」としての活動を実践するなかで、当行の紹介により、寿ホームズ株式会社が鳥取県の保有するJ-VERを50t-CO2購入されることとなったものです。寿ホームズ株式会社は、購入するJ-VERの一部を活用し、当社が保有するモデルルームの使用に伴い発生する二酸化炭素の全てをオフセット(温室効果ガスの埋め合わせ)することで環境に配慮した営業活動を実践されます。さらに、当社で住宅を建築されたお客様が入居後一年間に日常生活において排出した二酸化炭素を、今回購入するJ-VERを活用しオフセットすることで、お客様の“エコライフ”実現を支援されるものです。

当行は「鳥取県J-VER地域コーディネーター」の活動のなかで、環境経営・CSRとしての取り組みを推進される地元企業等への積極的なJ-VER制度のご案内と、J-VERを活用したカーボン・オフセットの提案による企業価値向上の取組支援を通じ、地域環境保全並びに地域経済活性化に資する活動を引き続き推進してまいります。

<次頁に続く>

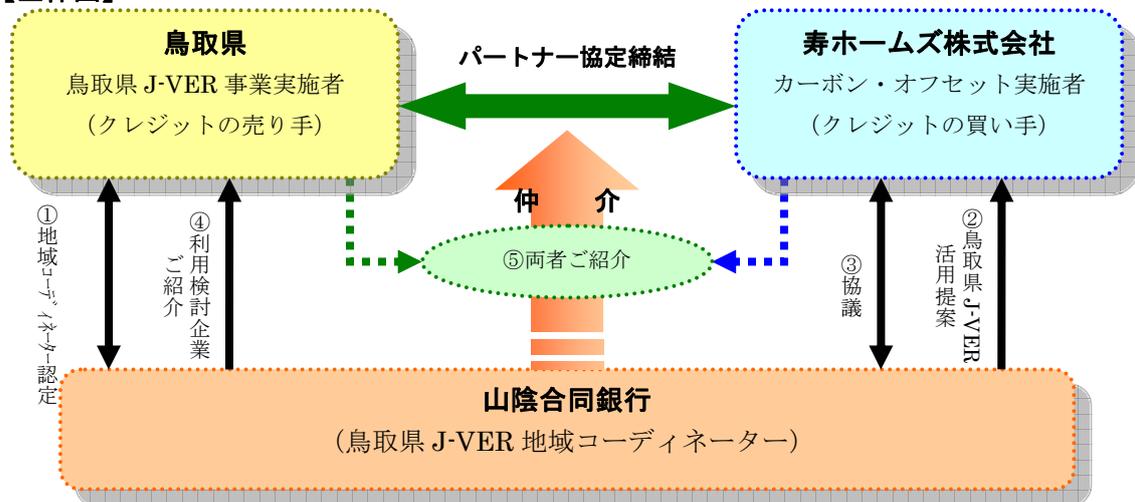
(別紙)

<調印式の概要>

- (1) 日 時： 平成24年2月6日(月) 10時05分~10時30分
- (2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者： (敬称略)
<鳥取県>
知事 平井 伸治
<寿ホームズ株式会社>
代表取締役 杉島 篤美
※以上は調印者
<当行>
代表取締役専務執行役員 石丸 文男
- (4) 式次第： ①開会/出席者紹介(概要説明)
②調印者署名(写真撮影)
③調印者挨拶(平井鳥取県知事、杉島代表取締役)
④経緯・取組説明(株式会社山陰合同銀行)
⑤質疑応答
⑥閉会

以上

【全体図】



<本件取組で期待される効果>

- ① J-VER 制度並びに鳥取県の森林整備・育成活動の地域社会への浸透
- ② さらなる森林整備の促進による県産材の活用拡大への貢献
- ③ カーボン・オフセットを通じたお客様(施主)への環境意識向上のきっかけ作り
- ④ 寿ホームズ株式会社の環境に配慮した住宅提供を通じた企業理念のPR